

10代の留学 よくあるQ&A

Q1. 中学生・高校生で留学は早すぎない？

Q2. 短期の留学って意味があるの？

Q3. 英語は苦手みたいだけど、留学させて大丈夫？

Q4. 治安が心配。安全管理はどうしたらいい？

Q5. 進学や就職に不利にならない？

A1. 中・高生というのは好奇心や知識欲に溢れている時期です。

吸収力・柔軟性に富んだこの時期に、日本とは異なる環境で学び生活することで、物事を様々な角度から捉える幅広い視野、自立心、積極性を育むことができます。広い視野を持って進路を選択できるようになることも大きなメリットです。

A2. 多感な10代の海外体験は、たとえ数週間でも大きな刺激となります。

高校生の留学の9割近くが1カ月未満ですが、育った環境に感謝し、社会貢献や学習への意欲が高まるなど、その後の人生を変えるほどの影響を受けたという例が多くみられます。まずは勉強や部活との両立も可能な短期留学で、好きなことを興味のある国で学んでみることをお勧めします。

	高校時代に教育をテーマに2週間の留学をしたAさん 名古屋大学教育学部附属高校▶早稲田大学へ進学	留学によって日本の教育の特徴を知り、大学でもっと深く学びたいという意欲に繋がりました。自分の研究テーマの存在意義が明確になり、モチベーション向上にもなっています。
---	--	---

A3. 語学レベルに合わせたプログラムがあるので大丈夫です。

英語が得意でも苦手でも、最初は思うように通じないもの。伝えたいと本気で思うことから英語力が急成長しますから、早い段階で一度海外で自分の力を試してみることが大切です。また語学力だけでなく、日本の常識が通じないアウェイな環境で人間関係を築いていく経験を通して、コミュニケーション力、タフさを身に付けることが一生の財産となります。

	高校時代に語学留学をしたBさん 市立福山高校▶神戸市外国語大学へ進学	英語力や、コミュニケーション能力不足に対する不甲斐ない気持ちが向上心になり、努力して夢を叶えるぞという意志を強めてくれました。
---	---------------------------------------	---

A4. 海外とひとこと言っても治安の状況は様々です。

「自分の身は自分で守る」意識を持ち外務省の海外安全ホームページで渡航先の国の状況を確認したり、在籍校に相談するなど、情報収集することが大切です。また、渡航前には外務省の安全管理システム「たびレジ」に登録し、最新情報を入手できるように備えましょう。期間によらず海外旅行保険に加入するほか、3カ月以上で渡航する際は在留届を提出することもお忘れなく。

A5. 留学で学んだことを生かせば、逆に有利になります。

オンライン学習ツール等を活用して受験勉強と両立する方が多いようです。また、質の高い留学経験は自身の主体性、チャレンジ精神やユニークさをアピールする材料となりえます。そして大学入試や就職活動では今後、一層それらの能力が評価されます。

長期留学する学生の中には日本での勉強や就活の時間を確保するために敢えて留年をする方も増えていきます。留学が理由なら、進学先や就職先からマイナス評価を受けないからでしょう。多くの大学や企業は留学経験者を積極採用したいと思っているのです。(P2下の円グラフ参照)

どんな留学方法があるの？

- ▶ 留学エージェント、旅行会社、NPOなどを活用
- ▶ 海外の学校やプログラムを自分で手配(オンライン等で直接申込み)
- ▶ 自治体や在籍校のプログラムに参加

おすすめコンテンツ

- ▶ 留学体験談が検索できる! 「留学大図鑑」

留学大図鑑 検索



- ▶ 子どもの可能性がみえる! 「のびしろ診断」

トビタテののびしろ診断 検索



どんな奨学金があるの？

国内外の産官学による様々な奨学金があります。

- ▶ 自治体や在籍校による奨学金についてチェック!

- ▶ 民間寄附による留学支援制度 「トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム」

トビタテ 検索

返済不要の給付型奨学金で、高校生・大学生を支援。

- 留学計画を自由に描き、在籍校を通じて応募できる
- 学校に行かないインターンシップなどの活動や休学中の留学も対象になる
- 充実した事前・事後研修が受けられ個性豊かな留学生コミュニティの一員になれる

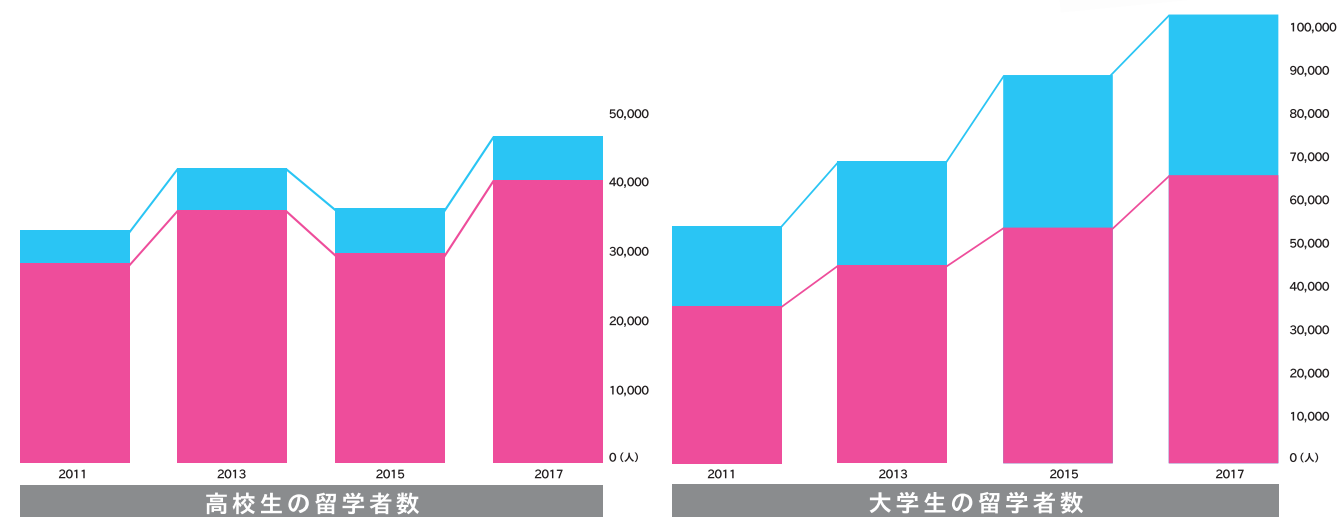


今の時代、

留学

しない方が

リスクかも?



出典：文部科学省初等中等教育局国際教育課
「高等学校等における国際交流等の状況について」

出典：(独)日本学生支援機構
「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

かわいい子に旅をさせたくない! 10代留学5分ガイド

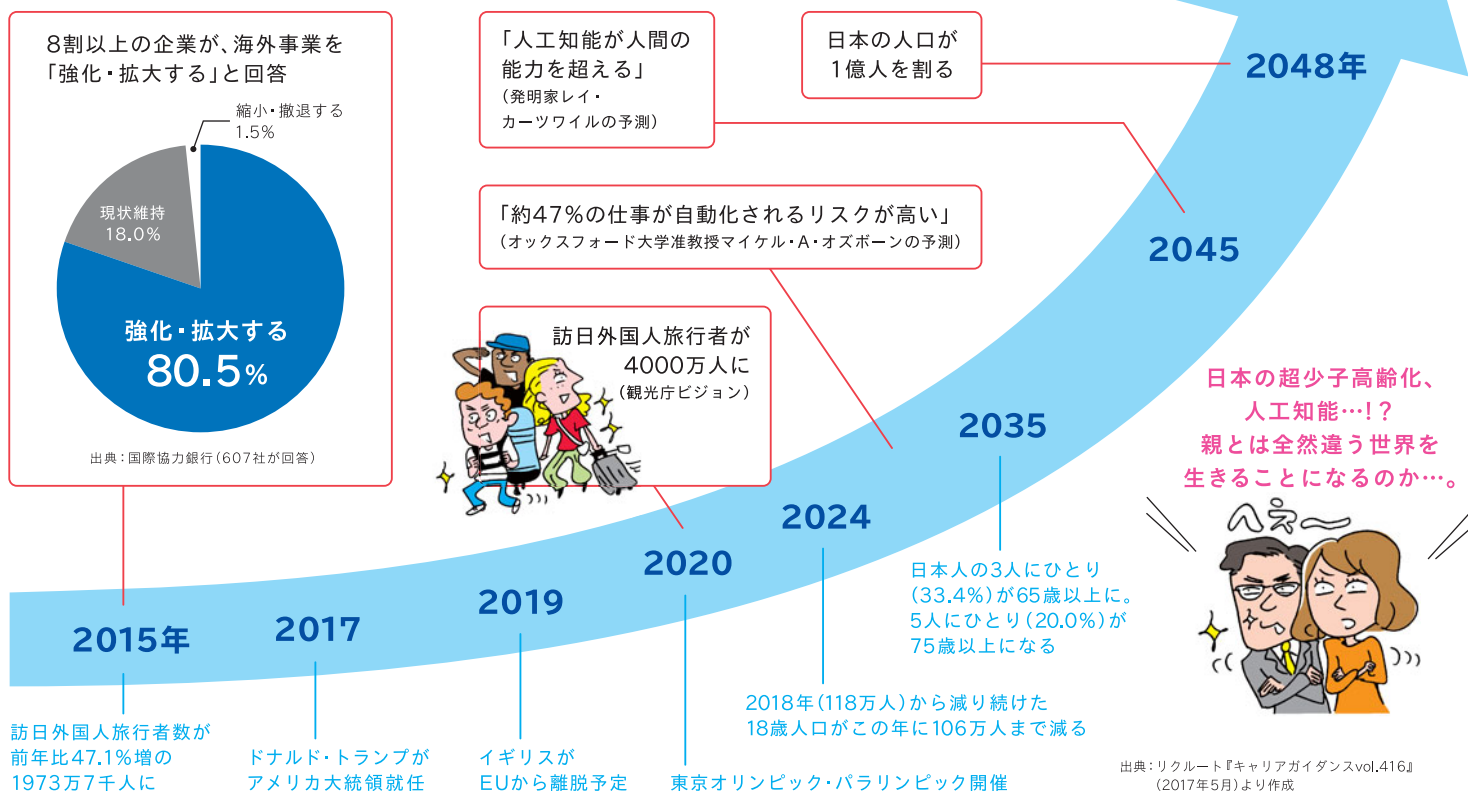




どうして今、「10代こそ留学」なの？



わが子の生きる未来は、もはや予測不可能！？
多様な人々と協働し、変化に対応する力が問われます

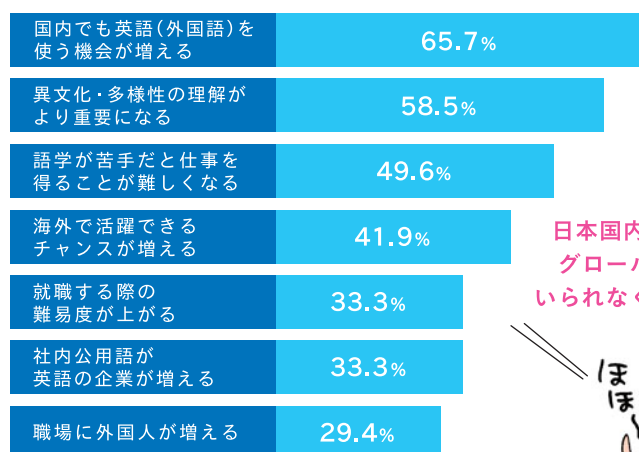


企業のグローバル化への意識は向上！ 保護者もわが子への影響を考えています

大学生の8割以上が「留学が就活で役立つ」、企業の採用担当者6割以上が「留学経験者を積極的に採用したい」と回答！

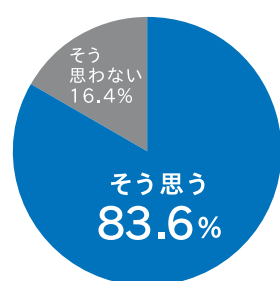
高校生の保護者の6割以上が、日本でも英語を使う機会が増えると考えている！

「グローバル化が我が子に及ぼす影響」上位7項目 (高校生の子どもを持つ保護者673名が回答)



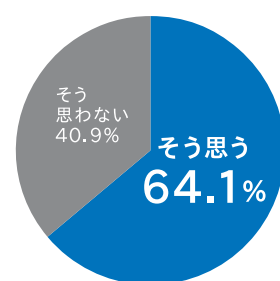
日本国内で生きるとしても、グローバル化と無縁ではいられなくなることだね。

「海外留学の経験が就活に良い影響を与えたか」



(海外留学かつ就活経験のある大学生103名)

「留学経験者を今後積極的に採用していきたい」



(企業の採用担当者409名が回答)

文部科学省 トビタテ！留学JAPAN「就活と留学に関する調査」2019年6月

出典：「第7回 高校生と保護者の進路に関する意識調査2015」(2016年2月)



留学にはどんな効果があるの？



語学力以上に未来を生き抜くチカラが身に付く
大学入試でも高校時代の留学が評価されやすくなる！

留学とひとことで言っても、最近では語学留学だけでなく「国際ボランティア」「インターンシップ」などの実践的な研修やスポーツ、アートなど学ぶテーマも多様化しています。留学を経験したことにより、学生・保護者ともに語学力はもちろん、チャレンジ精神やコミュニケーション能力の向上を感じているようです。また社会のニーズに連動し、大学入試でも主体的なチャレンジや多様な人と学べる力が評価されます。そのアピールができる「調査書」は、より多様で具体的な内容が見直され、海外留学経験等についても記載できる欄が新設拡充されます。

2020年から大学入試は変わります！

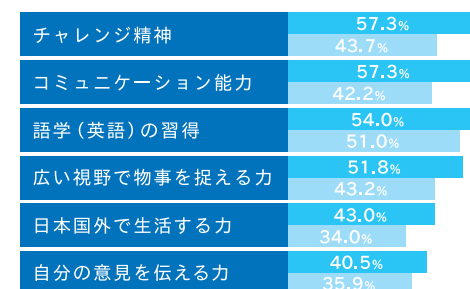
▶推薦はもちろん一般入試でも筆記試験だけでなく調査書等から「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」などを評価

▶調査書がより活用されるようになり、より多様で具体的な内容が記載されることに。

～調査書の主な記載項目～

- ・各教科・科目及び総合的な学習の時間の学習における特徴等
- ・行動の特徴、特技等
- ・部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等
- ・取得資格・検定等
- ・表彰・顕彰等の記録
- ・その他

留学で得たこと上位6項目 (学生309名 保護者※209名)



普段と全く違う環境だからこそ大きく変わるきっかけになるのね！



文部科学省 トビタテ！留学JAPAN「就活と留学に関する調査」2017年6月
※保護者から見て、留学したわが子が得たと思うことを回答



実録！親子インタビュー「10代留学、どうでした？」

高校2年次に、国際ボランティアでスリランカへ4週間の留学



子 大畠 奈都子さん
広島県立尾道東高等学校3年生
世界を舞台に活躍する保育士を目指す

保育士を目指して海外で子どもに関われるボランティアに興味があり、トビタテ奨学金を得て参加しました。現地ではプレスクールで英語を教えたり、人形劇を披露したり、他国の留学生と活動の進め方を議論したりしました。思うように英語で意見を伝えきれない経験から、英語を学ぶ姿勢が変わりました。帰国後は海外で働くことも視野に入れ、夢に向かって頑張っています。



親 大畠 隆珍さん
帰国後は夢に向けてより積極的になった

今の時代、海外経験することはとても良いことだと考えていました。子どもからスリランカ留学の話聞いたときは少し驚きましたが、よく話し合い家族で応援することになりました。渡航国の文化を体験し帰国後は夢の実現に向けてより積極的になったように感じます。今回の留学は、周りの人達や受け入れ先の協力があって実現したことを自覚し、経験を糧に頑張っていきたいと思います。

高校3年次に、イギリスオックスフォードへ3週間の語学留学



子 堀田 智之さん
国際基督教大学1年生
高3の夏休み留学で進路への意識も高くなった

高校の交流活動で仲良くなったイギリスの大学院生に留学を勧められ、行こう！と決意。留学先を直接手配することに挑戦しました。授業は互いの国や専門についての議論が中心で、世界の多様さに目からウロコでした。受験勉強との両立もできたし進路への意識も高まったので、高校時代に行って本当に良かったです。今は最高の大学生活を送っています。



親 堀田 雅子さん
心配だったけど、本人の意志を尊重してよかった

イギリス留学したいと言われたときはテロが頭をよぎりましたが、初ひとり海外でしたから滞在先にたどり着くかすら心配でしたが、本人の意志を尊重し送り出しました。留学先では、最初の数日はコミュニケーションに苦労したようですが、乗り越えたことが自信になり、一皮むけたと感じます。踏み出す勇気を応援することは大事ですね。

10代の留学について、もっと詳しく知りたい人はこちら

